

令和4年度 鴨川市男女共同参画推進審議会 第1回会議次第

日時：令和5年3月16日（木）

午後3時00分から

場所：市役所4階400会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

- （1）第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績について
- （2）男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について
- （3）男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果について
- （4）千葉県男女共同参画地域推進員令和4年度活動報告について
- （5）その他

4 その他

5 閉 会

[配付資料]

- 1 会議次第
- 2 出席者名簿（当日配付）
- 3 席次表（当日配付）
- 4 資料1 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績（主要24事業）
- 5 資料2 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果
- 6 資料3 男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果
- 7 資料4 千葉県男女共同参画地域推進員令和4年度活動報告書（抜粋）

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和4年度 第1回会議 出席者名簿

日時：令和5年3月16日(木)

午後3時00分から

場所：市役所4階400会議室

1 委 員

氏 名	備 考
浅沼 紀子	
上野 ひろ子	
齋藤 守彦	
立野 慶子	副会長
角田 佐智子	
長谷川 裕一	
速水 昭雄	会長

(アイウエオ順・敬称略)

[欠席委員]

氏 名	備 考
黒川 洋子	

2 市行政関係者

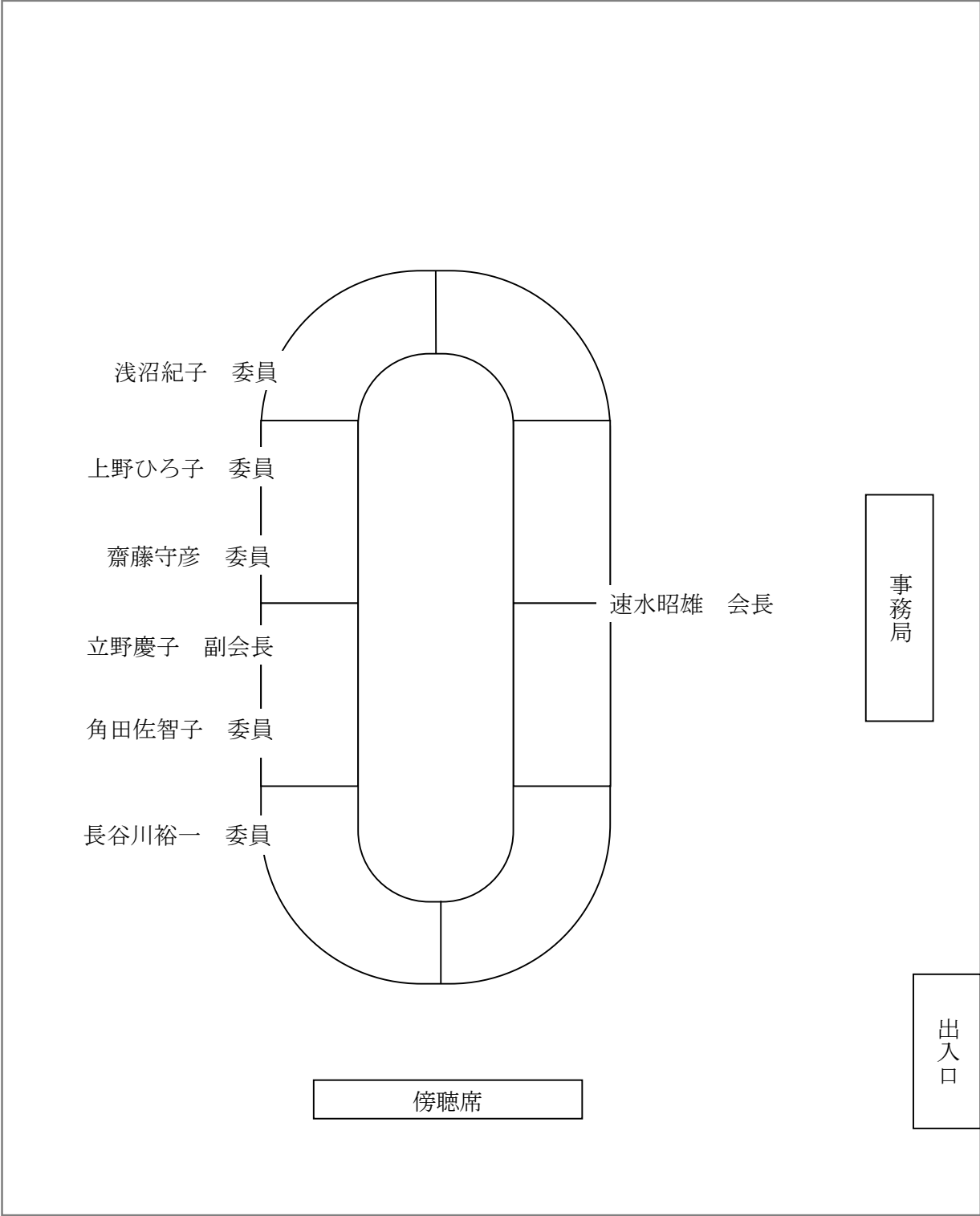
氏 名	所属・職	備 考
岡安 泰弘	企画総務部総務課主幹	
内木 久美子	企画総務部総務課秘書係長	
渡辺 明博	企画総務部総務課広報広聴係主査	

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和4年度 第1回会議 席次表

日時：令和5年3月16日（木）

午後3時00分から

場所：市役所4階400会議室



第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)

資料 1

担当課による評価について
○:一定の成果や数値的な実績が見られるなど、その取組みが堅調に推移していると認められるもの
△:具体的事業への着手は認められるものの、より一層の取組みや事業伸展が求められるもの
×:具体的事業に着手しているとはいえないもの

令和5年2月1日調査時点

No.	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
基本目標1 人権の尊重と男女共同参画社会の実現					
施策の方向1 人権尊重と男女共同参画への意識改革と理解促進					
① 固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発の推進					
1	固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発	「男らしさ、女らしさ」や「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識や慣行等の解消を図るため、意識啓発を行います。	○国が制定している男女共同参画週間(6/23～6/29)に合わせ、啓発活動を行った。 ・市役所1階に特設コーナーを設置し、DV防止啓発パネル展示(6/22～6/27)、千葉県おとう飯コンテストレシビパネル展示(6/28～7/3)、第3次鴨川市男女共同参画計画の紹介、啓発グッズ(100セット)の配架。 ○県との連携により、研修会及びセミナーを開催した。 ・男女共同参画研修会＝10/4(火)に市役所大会議室、市職員40人が参加。 ・中学生男女共同参画セミナー＝11/30(水)に鴨川中学校体育館。全校生徒、保護者、教職員等約570人が参加。 ○啓発チラシ回覧・配布による啓発活動を行った。 ・市政協力を通じ、市内全域へ啓発チラシを回覧。10月15日付け、1,019部。 ・「二十歳の集い」の際、参加者に啓発チラシ配布。1/8(日)、255部。	R4 R5 R6 R7 R8	○ 総務課
② 男女平等意識の醸成					
2	男女共同参画に関する情報の収集と提供	男女共同参画に関連する情報や国、県、近隣自治体等の取組についての情報を収集し、市広報誌やホームページ等を通して広く市民に提供します。	○「第3次鴨川市男女共同参画計画」を市政情報コーナーへ配架するとともに、市ホームページへ掲載した。 ○市広報誌6/15号へ「第3次鴨川市男女共同参画計画」の概要及び「男女共同参画週間」に関する情報を掲載した。 ○県や国が主催する男女共同参画に関する各種行事のチラシ等について、市主要施設に配架した。 ○県が毎月2回発行する「ちばの男女共同参画マガジン」を市ホームページへ掲載した。	R4 R5 R6 R7 R8	○ 総務課
3	男女共同参画に関するセミナー等の開催	県などの関連団体との連携のもと、男女共同参画に関するセミナー等のイベントの開催を検討します。	○千葉県男女共同参画地域推進員会議(南房総地域)に出席した。(7回) ○千葉県の「男女共同参画アドバイザー派遣事業」を活用し、市職員対象に研修会を初開催した。 ・10/4、「男女共同参画のまち鴨川をめざして～行政の職員として～」、市役所会議室、40名。 ○千葉県男女共同参画地域推進員主催の寸劇事業及び啓発ポスター制作に参画した。 ・11/22、「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」、鋸南町立鋸南中学校 ○千葉県男女共同参画課職員を講師に迎え、中学生男女共同参画セミナーを開催した。 ・11/30、鴨川中学校全校生徒及び保護者、教職員約570名。	R4 R5 R6 R7 R8	○ 総務課
③ 学校教育等における男女平等に関する保育・教育・学習の推進					
4	男女平等の視点に立った教育・学習の推進	学級会や児童会、生徒会といった校内組織における男女平等への配慮や、男女平等に関する歴史の学習の実施など、学校教育活動全般において、子どもの発達段階に即した教育や学習を推進します。	○校内のあらゆる組織を男女平等の視点で見直し、必要に応じて改善を行った。 ○固定観念解消のための教職員研修を実施した。 ○男女平等の視点に立った教職員の適切な指導や言動に努めた。 ○小学校の道徳の年間指導計画の見直しを行った。 ○中学校の道徳の年間指導計画の見直しを行った。	R4 R5 R6 R7 R8	○ 学校教育課

No.	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
5		教材等の選定にあたり、男女共同参画の視点を加味するよう努めます。	○男女平等の視点に立った教材の選定を行った。 ○教材について、色を男女別に指定することなく、自由に選択させている。	R4 ○ R5 R6 R7 R8	学校教育課
④ 男女共同参画の意識を高める生涯学習の充実					
15	図書館における男女共同参画に関する図書の充実	男女共同参画や「SDGs」に対する市民の正しい知識と理解を深めるため、関連図書を整備し活用を図ります。	○幼い頃から人権や差別についての知識と理解を深めるため、児童室に「SDGs」関連図書のコーナーを設置し、利用の増加を促した。 ・R4度に購入したSDGs関連冊数 32冊（R4年度購入総冊数 2,196冊） 『ジェンダー・アイデンティティ』・佐々木掌子/監修/国土社 『性役割/性別表現』・佐々木掌子/監修/国土社 『LGBTQの働き方をケアする本』・宮川直己/著/自由国民社 等	R4 ○ R5 R6 R7 R8	生涯学習課（図書館）
16		男女共同参画や「SDGs」に関する図書の利用件数が増加するよう、展示の仕方等を工夫します。	○図書館入口の展示スペースを利用し、4月～6月にかけて「住みよい世界を目指そう」というテーマのもと、SDGsの「ジェンダー」や「平和」に関する図書の展示を行った。	R4 ○ R5 R6 R7 R8	生涯学習課（図書館）
⑥ 性的少数者への理解促進					
21	性的少数者に対する配慮の取組の推進	性的少数者への理解不足による、いじめや偏見など人権侵害を防ぎ、誰もが自分らしさを認め合える社会環境を実現するため、市広報誌やホームページ、啓発パンフレット等により性の多様性に関する理解促進に努めます。	○県や国が主催する性の多様性に関する各種行事のチラシ等について、市主要施設に配架した。 ○県が毎月2回発行する「ちばの男女共同参画マガジン」を市ホームページへ掲載した。 ○性的少数者に対する偏見の一因となる「アンコンシャスバイアス」について理解を深めるため、市職員や市内中学生を対象に研修会やセミナーを開催した。 ・10/4 市職員研修会・「男女共同参画のまち鴨川をめざして」、市役所大会議室、職員40名。 ・11/30 中学生セミナー・「男女共同参画について」、鴨川中学校、全校生徒・保護者・教職員約570名。	R4 ○ R5 R6 R7 R8	総務課
施策の方向2 あらゆる暴力・虐待等を許さない環境づくり					
① DV等に関する対策の推進 【DV対策基本計画】					
23	DV被害者を支援する体制の充実	DV被害者の安心・安全を確保するため、関係機関と連携し、相談支援を実施します。また、DV被害者の保護と心身ケア、社会的自立を促す支援体制の充実を図ります。	○福祉総合相談センターが中心となり、他課や警察などの関連機関と連携を図り、DV被害者への支援を行った。緊急避難支援に係る費用負担が発生しなかったため事業費は0円であった。 ○DV被害者等支援のためのマニュアルを活用した。 【相談件数 14件 延べ支援回数 66回】	R4 ○ R5 R6 R7 R8	健康推進課
24		市広報誌やホームページ等を通して相談窓口を周知します。	○市広報誌やホームページ等に掲載し、相談窓口の周知を図った。 ○地域行事等に於いて、パンフレット等を配布して相談窓口を周知した。	R4 ○ R5 R6 R7 R8	健康推進課

No.	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価		担当課
施策の方向3 人権侵害を許さない社会環境づくり						
① 人権に関する相談等の充実						
37	人権相談の充実	全ての人が差別なく幸せに暮らす権利を守るため、千葉地方法務局と連携し、「特設人権相談所」を市内各地区において定期的に開設します。	○人権擁護委員による特設人権相談所を毎月1回、市内公共施設において開設した。 本庁＝4/21(木)・8/22(月)・10/18(火)・12/15(木) 天津小湊支所＝5/23(月)・9/20(火)・1/19(木) 吉尾公民館＝6/21(火) 太海公民館＝7/20(水)・11/18(金)、相談件数2件	R4	○	総務課
				R5		
				R6		
				R7		
38	千葉地方法務局との連携を密にし、人権侵犯事件が発覚した場合における調査・救済のための協力体制の整備を進めます。	○人権侵犯事件の事案はなかったが、千葉地方法務局、人権擁護委員、市の連携との連携を密にし、協力体制の整備を図った。	○人権擁護委員による特設人権相談所を毎月1回、市内公共施設において開設した。 本庁＝4/21(木)・8/22(月)・10/18(火)・12/15(木) 天津小湊支所＝5/23(月)・9/20(火)・1/19(木) 吉尾公民館＝6/21(火) 太海公民館＝7/20(水)・11/18(金)、相談件数2件	R4	○	総務課
				R5		
				R6		
				R7		
39	市広報誌及びホームページ等を通して相談窓口を周知します。	○特設人権相談所の開設について、ホームページに年間予定を掲載した。 ○毎月1日発行の広報誌に周知記事を掲載した。 ○公共施設等へ関連するポスターの掲示やリーフレット類を配架した。 ○市内5小学校と1中学校で実施した人権教室の中で、人権擁護委員が子どもの人権相談窓口について周知した。	○人権擁護委員による特設人権相談所を毎月1回、市内公共施設において開設した。 本庁＝4/21(木)・8/22(月)・10/18(火)・12/15(木) 天津小湊支所＝5/23(月)・9/20(火)・1/19(木) 吉尾公民館＝6/21(火) 太海公民館＝7/20(水)・11/18(金)、相談件数2件	R4	○	総務課
				R5		
				R6		
				R7		
② 男女共同参画に関する調査・研究と、情報の収集・提供						
41	男女共同参画に関する市民意識調査の実施	男女共同参画に関する市内の実情や市民の意識の現状を明らかにするために必要な調査項目を検討し、市民意識調査を実施します。また、調査結果をホームページ等に掲載することにより情報提供・啓発を行います。	○令和2年度に実施した市民意識調査の結果報告書を市政情報コーナーへ配架するとともに市ホームページへ掲載している。令和4年度は調査を実施していないが、国や県、県内自治体が発した意識調査等について情報収集に努めた。	R4	△	総務課
				R5		
				R6		
				R7		
基本目標2 あらゆる分野における男女の参画促進『女性活躍推進計画』						
施策の方向1 行政における男女共同参画の推進						
① 各審議会等委員への女性の参画促進						
44	審議会等における女性委員の登用の促進	「鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、各審議会等における女性の登用率が30%以上になるように努めます。	○各審議会等における委員の登用状況等を調査し、女性委員の登用率が低い審議会等には向上を図るための取組、検討を促した。 ・令和4年4月1日現在 各審議会等委員数 242人(うち女性委員数 56人 登用率 16.2%)	R4	△	総務課 各所属
				R5		
				R6		
				R7		

No.	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価		担当課
施策の方向3 家庭や子育てにおける男女共同参画の促進						
① ワーク・ライフ・バランスの啓発						
50	事業所等に対する広報・啓発	ワーク・ライフ・バランスに関連する情報を収集し、市内事業所等に対する広報・啓発を行います。	○厚生労働省及び千葉労働局が作成したワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを市主要施設に配架した。また、鴨川市商工会を通じて会員事業所(1,013事業者)等へ配布した。 ○広く市民や事業者への周知・啓発を目的として、ワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを鴨川市の主要施設や鴨川市ふるさとハローワークへ配架した。	R4	○	商工観光課
				R5		
				R6		
				R7		
				R8		
② 男性の家事・育児・介護への参画促進						
51	男性の食生活改善事業	主に高齢男性の食の自立を目的として、健康づくりに関する知識や調理技術の向上に関する講習会等を実施します。	○男性のための食育活動を食生活改善協議会に委託した。感染症予防の観点からマスク着用や黙食対応により、実施した。 ○例年、任意団体「食楽会」への人的支援も行っているが、感染症予防のため未実施。 《男性の料理教室》 東条料理クラブ 11回 99名 調理実習等	R4	△	健康推進課
				R5		
				R6		
				R7		
				R8		
52	パパママ学級の開催	男女が共に力を合わせて育児に参加できる社会づくりを促進するため、意識啓発と技術指導を兼ねたパパママ学級を開催します。	○妊娠5～8か月妊婦とその家族を対象としたパパママ学級を年3回(1回当たり5回開催)実施した。2回目の同窓会については、参加者なしのため中止。 参加者数 妊婦:実人数27名、延べ54名 夫:実人数22名、延べ26名 ○パパママ学級受講歴のある産後3～6か月の産婦と、その子どもや家族を対象とするパパママ学級同窓会を年2回実施した。参加者数:産婦5名、夫1名	R4	○	健康推進課
				R5		
				R6		
				R7		
				R8		
53	育児、介護等に関する講座等への参加促進	育児や介護等に関する各種講座等への男性の参加が促進されるよう、開催日時や講座のテーマ等について工夫します。	○パパママ学級及びパパママ学級同窓会における講話の中で、夫婦相互の意見を聞き出し、父親の役割について話す時間と男性の育児参加について共有する時間を作った。また、参加したすべての夫が妊婦体験をしてもらえるよう講話内容の工夫を行うとともに、仕事の都合で講話等に参加できない夫についても、個別に相談対応ができる体制を整備した。 実施日時:木曜日又は水曜日、午後1時30分～午後4時 講話内容:パパの妊婦体験、沐浴実習、お産の補助動作、赤ちゃんとのふれあい 等	R4	○	健康推進課
				R5		
				R6		
				R7		
				R8		
③ 教育・保育事業の充実						
55	学童保育の充実	市内の留守家庭児童の健全育成と事故防止のため、学童クラブを運営する団体に補助金を交付するほか、運営支援を行います。	○学童クラブを運営する6団体に補助金を交付した。 ・社会福祉協議会(4団体)、社会福祉法人(1団体)、保護者会(1団体)	R4	○	子ども支援課
				R5		
				R6		
				R7		
				R8		

No.	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
④ 地域が一体となった子育て支援体制の充実					
60	ファミリー・サポートセンターの利用促進	子育てを支援したい人と子育て支援サービスを受けたい人の相互援助組織であるファミリー・サポート事業の周知に努め、その利用を促進します。	○利用促進を図るため、提供会員の増加につながる勧誘や市広報誌へ年3回の掲載をすると共に提供会員向け説明会を行った。 ・会員登録 提供会員15人、依頼会員28人、両方会員1人 利用実績133件	R4 R5 R6 R7 R8	子ども支援課
施策の方向5 雇用の場における男女の機会均等と待遇の確保のための環境づくり					
② 就職希望者に対する情報提供					
66	女性の再就職の促進	ハローワーク等の関係機関と連携し、女性の再就職希望者に特化した相談窓口を周知するとともに、職業訓練など、職業能力開発に関する情報の提供に努めます。	○鴨川市ふるさとハローワークにおいて職業相談員による職業相談・職業紹介等を実施した。新規求職者数278件・職業相談数1,130件・職業紹介数555件・就職件数237件(令和4年4月から12月までの延べ件数) ○館山公共職業安定所(ハローワーク館山)及びふるさとハローワーク、鴨川市との連携による就職相談会を開催した。10/28(金)11/29(火)参加者計10名 ○ハローワーク館山及び安房地域3市1町による就職相談会等の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。	R4 R5 R6 R7 R8	商工観光課
施策の方向6 農林水産業・自営業における女性の地位向上の促進					
① 農林水産業における男女の経営参画の促進					
69	家族経営協定の締結の促進	認定農業者を対象とした研修等において、男女のパートナーシップの確立について啓発を行い、家族経営協定の締結を推進します。	○認定新規就農者において、1件の家族経営協定(夫婦型)の締結に至った。	R4 R5 R6 R7 R8	農林水産課
基本目標3 男女が共に自立し、生涯を通して安心して暮らせる環境づくり					
施策の方向4 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立					
① 女性の参画など性差等に配慮した防災対策の推進					
93	防災対策における性差等への配慮	災害発生時における避難所での生活を想定し、独立した区画を設けるためのパーテーションや生理用品、液体ミルクなど女性の視点を盛り込んだ物資の準備を行います。	○独立した区画を設けるための避難用 TENT を各避難所へ配置するとともに、生理用品、液体ミルクを準備した。	R4 R5 R6 R7 R8	危機管理課

男女共同参画に係る啓発活動の実施結果

I 男女共同参画週間における啓発の取組

1. 趣 旨

国が定める「男女共同参画週間（毎年6月23日から29日までの1週間）」に合わせ、周知啓発活動の一環として市役所本庁舎に特設コーナーを設置し、男女共同参画社会の実現に向けた市民意識の醸成を図った。

2. 期 間 令和4年6月22日（水）から7月3日（日）までの12日間

3. 会 場 市役所本庁舎1階市政情報コーナー

4. 時 間 午前8時30分から午後5時15分まで【6月28日（火）は午後7時まで】

5. 内 容

（1）パネル展示（前期後期の2部制でパネルを入れ替え）

①前期（6日間）＝DV防止啓発パネル【6月22日（水）～27日（月）】

②後期（6日間）＝千葉県おとう飯コンテストレシピパネル【6月28日（火）～7月3日（日）】

（2）第3次鴨川市男女共同参画計画（本編・概要版）の紹介

（3）男女共同参画及びDV対策に関する啓発グッズの配架

（4）男女共同参画週間啓発用ノボリ旗

6. 記録写真



DV防止啓発パネル



千葉県おとう飯コンテストレシピパネル

Ⅱ 男女共同参画パンフレットによる啓発の取組

1. 趣 旨

コロナ禍の影響により、接触を伴う市内大規模店舗での啓発グッズの配布キャンペーンが実施できなくなったことから、これに代わる取組として啓発パンフレットを作成し、市政協力員を通じて回覧した。

また、若い世代への啓発を図るため、「二十歳の集い」の参加者に対し、啓発パンフレットを配付した。

2. 取組内容

(1) 市政協力員による回覧

- ・回覧日 令和4年10月15日（水）
- ・部 数 1,019部（市内全域）

(2) 「二十歳の集い」での配付

- ・配付日 令和5年1月8日（水）
- ・部 数 225部（対象者381人のうち出席者分）

3. 令和4年度 鴨川市男女共同参画啓発パンフレット（A4判両面カラー）



（表面）



（裏面）

男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果

I 市職員研修会

1. 趣 旨

第3次鴨川市男女共同参画計画の取組み項目に、市役所における男女共同参画の推進が挙げられており、今後、行政の各分野において男女共同参画の視点や性的少数者への配慮が必要になることから、千葉県「男女共同参画アドバイザー派遣事業」を活用し、男女共同参画社会の現状と課題、行政の役割などをテーマに職員研修会を開催した。

2. 日 時 令和4年10月4日（火）13:30～15:30

3. 会 場 鴨川市役所4階大会議室

4. 参加者 職員 40 人

5. テーマ 「男女共同参画のまち鴨川をめざして～行政の職員として～」

6. 講 師 NPO 法人パートナーシップながれやま理事 山口 文代 氏

7. 概 要

山口文代講師は、男女共同参画への日本の取組みやジェンダー不平等な日本の現状などについて、表やグラフを用いて解説した後、講師の活動拠点である流山市を例に、女性の視点からの防災・減災活動や女性の防災リーダー養成について触れ、誰も取り残さない避難所の必要性を訴えた。

研修後半には、「アンコンシャス・バイアス」への注意点が取り上げられ、山口講師からは、「無意識の思い込みを自覚することが大切」との助言が送られた。

研修に参加した職員は、「市職員としての経験に立っての解説はわかりやすかった。」などと感想を述べていた。

8. 記録写真



Ⅱ 中学生セミナー

1. 趣 旨

男女共同参画社会の実現に向けて、固定的な性別役割分担意識等の解消及び男女平等意識の醸成を目的とした意識啓発を推進するため、千葉県男女共同参画課職員を講師に迎え、市内中学生を対象とした男女共同参画セミナーを開催した。セミナー終了後、参加者の感想を求めるとともに、男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケートを実施した。

2. 日 時 令和4年11月30日(火) 13:25～15:15

3. 会 場 市立鴨川中学校体育館

4. 参加者 全校生徒、保護者、教職員など約570人

5. テーマ 「男女共同参画について ～一人ひとりが幸せな社会のために～」

6. 講 師 千葉県総合企画部男女共同参画課 副主査 岡本 彩花 氏

7. 概 要

岡本講師はセミナーの冒頭、スライドやビデオを使い、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）をはじめ、SDGsとジェンダー平等の関わり、ワーク・ライフ・バランス、政策・方針決定過程への女性の参画などについて、現状と課題、国・県の取組をわかりやすく解説。「『こうあるべき』といった考えにとらわれず、相手の考えを認める気持ちを大切にしてほしい。」と伝えた。

また講師は、中学生に身近な問題としてデートDVを取り上げ、「被害を受けた時は一人で悩まず、周囲の助けを求めるか専門の相談窓口を利用して。」と呼びかけた。

セミナー終了後の生徒代表あいさつでは、生徒会長の鈴木碧人さん（2年生）が、「今日学んだことを普段の生活に役立てていきます。」などと謝辞を述べた。

8. 記録写真



中学生男女共同参画セミナーアンケート集計結果報告書

1 調査の目的

セミナーの参加者に対し、聴講後の感想を求めるとともに、男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケート調査を実施した。

2 調査の概要

- (1) 調査日：令和4年11月30日(水)
- (2) 対象者：鴨川中学校1～3年生323名（女性157名、男性166名）
- (3) 回収数：N（全体数）＝323名（回収率：100.0%）
- (4) 調査方法：セミナー終了後、生徒に回答してもらい回収した。

3 調査項目

性別、「男女共同参画」・「DV」の言葉の認知度、家庭や学校における固定的な性別役割分担意識、性別の違いによる不平等、感想・自由意見など

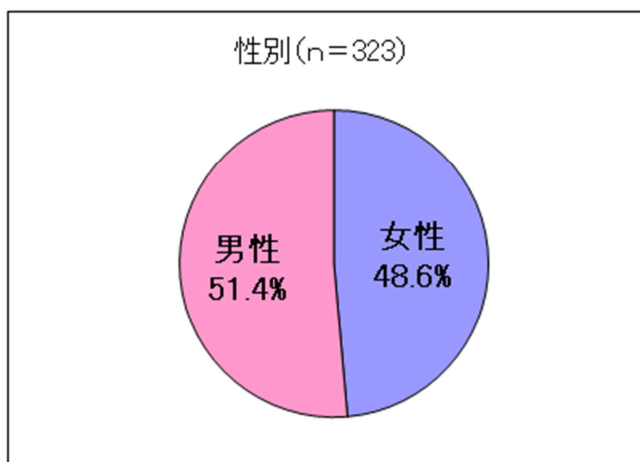
4 集計結果（※小数点以下端数処理の関係で合計が100%とならない場合がある

（Q1）性別〔択一 n＝323〕

回答者の性別は、女性48.6%、男性51.4%となっている。

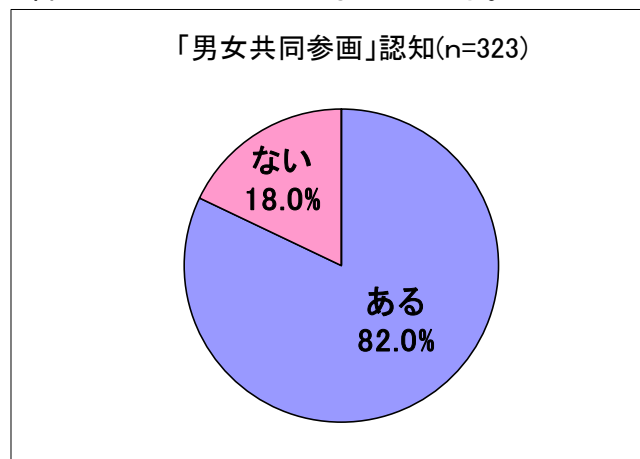
○女性 157名 (48.6%)

○男性 166名 (51.4%)



（Q2）「男女共同参画」の言葉の認知度〔択一 n＝323〕

「男女共同参画」という言葉を聞いたことがあると答えた人が82.0%、ないと答えた人が18.0%となっている。



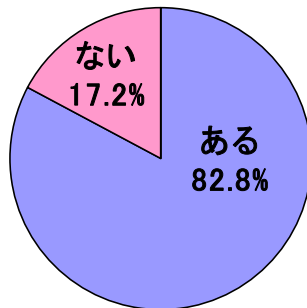
<男女別の回答>

○ 女性

「ある」 130 名 (82.8%)

「ない」 27 名 (17.2%)

「男女共同参画」認知(n=157)

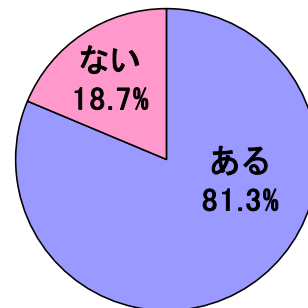


○ 男性

「ある」 135 名 (81.3%)

「ない」 31 名 (18.7%)

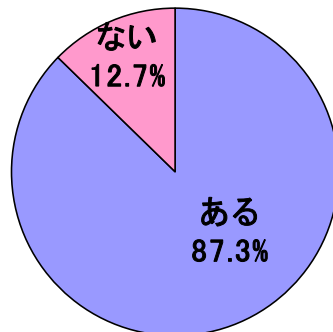
「男女共同参画」認知(n=166)



(Q3) 「DV」の言葉の認知度〔択一 n=323〕

「DV」という言葉を聞いたことがあると答えた人が 87.3%、ないと答えた人が 12.7%となっている。

「DV」認知(n=323)



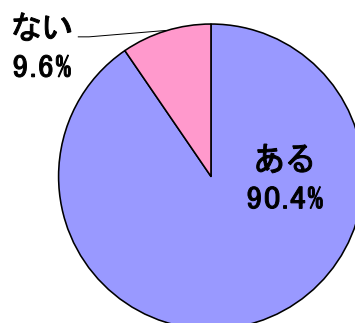
<男女別の回答>

○ 女性

「ある」 142 名 (90.4%)

「ない」 15 名 (9.6%)

「DV」認知(n=157)

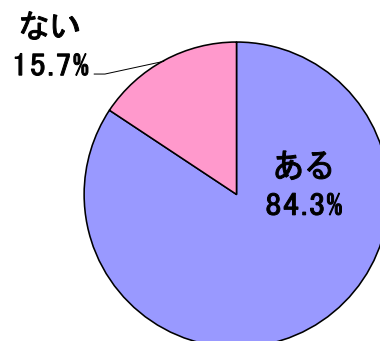


○ 男性

「ある」 140 名 (84.3%)

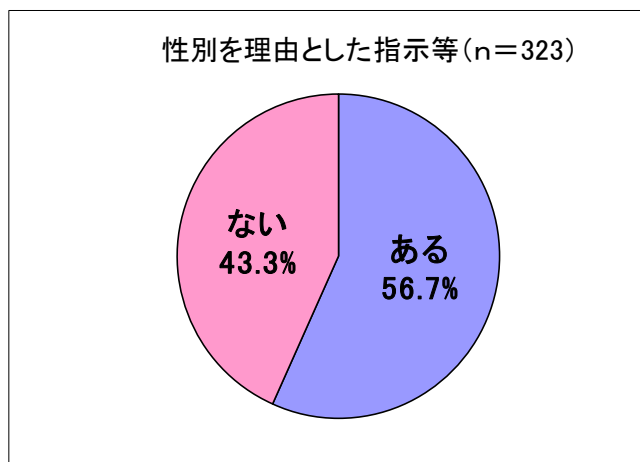
「ない」 26 名 (15.7%)

「DV」認知(n=166)



(Q 4-1) 固定的な役割分担意識〔択一 n=323〕

家庭や学校において、性別を理由に指示を受けたり意見を言われたりしたことがあると答えた人が 56.7%、ないと答えた人が 43.3%となっている。



<男女別の回答>

○ 女性

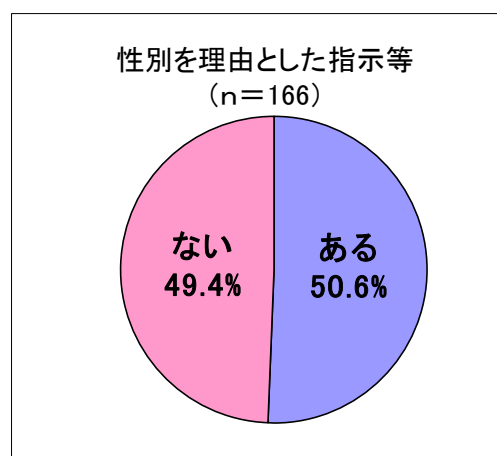
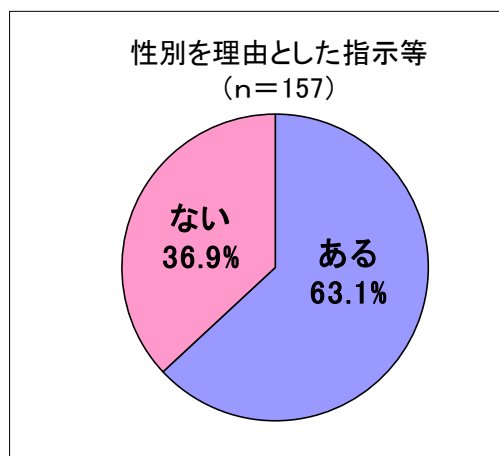
「ある」 99 名 (63.1%)

「ない」 58 名 (36.9%)

○ 男性

「ある」 84 名 (50.6%)

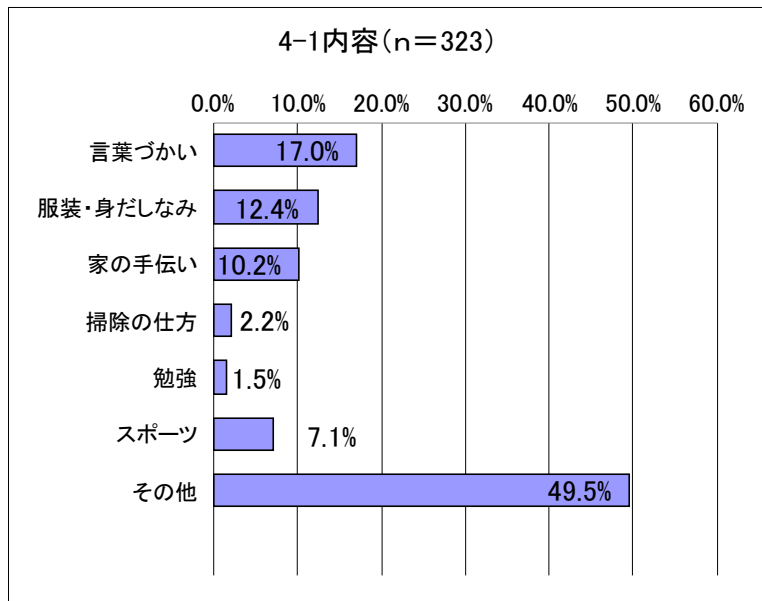
「ない」 82 名 (49.4%)



(Q 4-2) Q 4-1 の内容〔複数選択 n=323〕

Q 4-1 で、「ある」と答えた人のうち、その内容について、「言葉づかい」が 17.0%、次いで「服装・身だしなみ」が 12.4%、「家の手伝い」が 10.2%となっている。

- 言葉づかい 55 件 (17.0%)
- 服装・身だしなみ 40 件 (12.4%)
- 家の手伝い 33 件 (10.2%)
- 掃除の仕方 7 件 (2.2%)
- 勉強 5 件 (1.5%)
- スポーツ 23 件 (7.1%)
- その他 160 件 (49.5%)



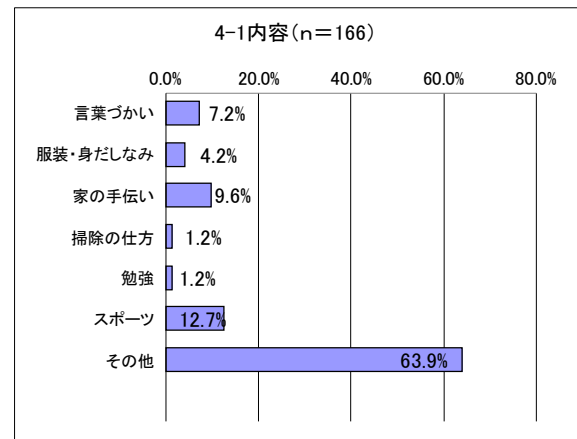
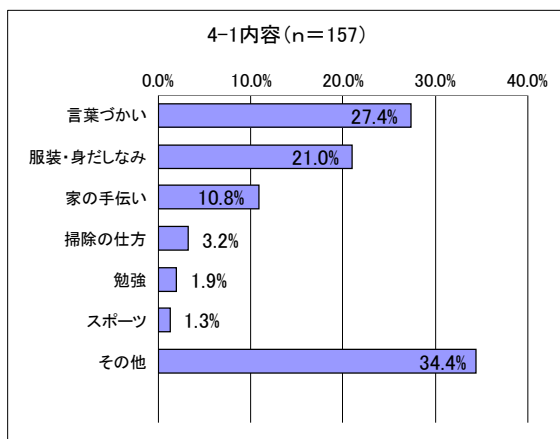
<男女別の回答>

○ 女性

「言葉づかい」	43 名 (27.4%)
「服装・身だしなみ」	33 名 (21.0%)
「家の手伝い」	17 名 (10.8%)
「掃除の仕方」	5 名 (3.2%)
「勉強」	3 名 (1.9%)
「スポーツ」	2 名 (1.3%)
「その他」	54 名 (34.4%)

○ 男性

「言葉づかい」	12 名 (7.2%)
「服装・身だしなみ」	7 名 (4.2%)
「家の手伝い」	16 名 (9.6%)
「掃除の仕方」	2 名 (1.2%)
「勉強」	2 名 (1.2%)
「スポーツ」	21 名 (12.7%)
「その他」	106 名 (63.9%)



(Q5) 性別の違いによる不平等 (抜粋)

○ 女性

- ・ 知らない学童の先生が女の子なら走り回るなど言われた。
- ・ 女子だから料理手伝うこと
- ・ 椅子に座るとき足を閉じなさいと言われた。
- ・ 男の子は強いからと男の子が優先されたこと
- ・ 男子はズボンで女子はスカートををはかなければいけない。

○ 男性

- ・ 制服が選べない。

- ・男の子なんだから我慢しなさいなど理不尽なことを言われた。
- ・小学校の頃外で遊ばなかったら先生が「男子なんだから外で遊びなさい」と言われた。
- ・男の子だから家事(女性の仕事)しなくていいのみたいに祖母から言われた。
- ・荷物持ちなどの仕事を男がやることが多い。

(Q 6) 男女共同参画社会の実現に必要なこと(抜粋)

○ 女性

- ・性別などによる差別などがなくなるように授業などで伝えていくこと。
- ・女性が政治のトップに多く就任する。
- ・なにかポスターなどでこういう事があるとかを発信していったらいいと思いました。
- ・男だからとか女だからっていう差別みたいなものを減らしていきたい。
- ・一人一人が男女共同参画の考えや自覚を持っていく必要があると思う。
- ・男女が平等に過ごせるように自分でも意識して生活したいです。
- ・学校でいうなら女子でもズボン男子でもスカートと、選べる環境があればいいと感じた。
- ・協力は大切だけど、偏見による手助けはやめたほうがいいのかなと思う。
- ・たくさんの人に男女共同参画社会を知ってもらおう。
- ・男だからとか女だからというのではなく、一人の人として人と接したいと思った。

○ 男性

- ・男女ともに働ける環境。
- ・男女問わず仲良くしていきたいと思います。
- ・性別を1つにして男女という概念をなくす。
- ・どんな人にも優しく対応する。
- ・男女差別をなくして男女互いに仲良く過ごしていく。
- ・よく理解してから問題を知って行動する。
- ・それぞれの違いを尊重していくことが必要だと思う。
- ・男女共同参画社会という言葉知らない人が多いと思うから男女共同参画社会という言葉を広めていきたい。
- ・男女の仕事の思い込みによる分担をなくすことやお互いを尊重しあうこと。
- ・男女ではなく人間としてみること。

(Q 7) 感想・自由意見(抜粋)

○ 女性

- ・知らなかった事がたくさんあったから勉強になりました。
- ・日本は男性の幸福度が低いらしいので、それは男女共同参画とどんな関

係があるのか気になった。

- ・男女共同参画社会という言葉を知らなかったのもセミナーで良くわかった。
- ・学校とかは男女平等なことが多いけどこれから大人になるにつれて平等じゃないことも多いんだなと思いました。
- ・アンコンシャスバイアスという言葉や意味を知れたしこれからの生活に気をつけたいと思った。
- ・最初のクイズで気づかないうちにお医者さんは男性だと思ってしまったので自分でも驚きました。
- ・グラフを使っていて分かりやすかった。
- ・説明が詳しくちゃんと理解することが出来た。
- ・不平等に感じることはあまりないけど困っている人もいることがわかった。
- ・こういうアンケートみたいなのは自分の考えを知るためにも必要だと思う。

○ 男性

- ・わからないことが多かったけどとても深刻に感じた。
- ・自分はいやだなと感じたことがないのでわかんないけど、傷つく人もいると思うので、言葉に気を付けたいです。
- ・とても心に深く刺さる話で 自分の考えを改めて見直すことができました。
- ・アンコンシャスバイアスなど、初めて知る言葉がたくさんあり、勉強になりました。
- ・性別による偏見をなくす手掛かり見つけた気がします。
- ・アンコンシャスバイアスなどの難しい言葉もあったけどこれからの社会に大切なことなんだなと感じた。
- ・男女共同参画社会がより早く実現すればいいなとおもいました。
- ・性別の違いによる不平等への関心は深まると思うけどその不平等はなくならないと思う。
- ・グラフや映像などを使っていてとても分かりやすかった。
- ・私は今回のセミナーで多様化した現在でも、まだまだ課題がある事を知りました。

令和4年度活動報告書(抜粋)

人として 私らしく あなたらしく

～認め合いと思いやり～

南房総地域男女共同参画セミナー



令和4年11月22日(火)

鋸南町立鋸南中学校

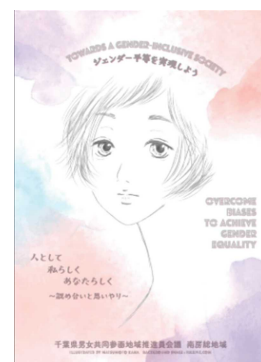
「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」

啓発ポスター

①アンコンシャス・バイアス



②ジェンダー平等



館山市



©studio crocodile・館山市
館山市マスコットキャラクター
【ダッペエ】

木更津市



マスコットキャラクター
【きさぽん】

鴨川市



イメージキャラクター
【たいよう君・まっつー・
ななちゃん】

君津市



君津市マスコットキャラクター
【きみびよん】

富津市



おもてなしキャラクター
【ふつつん】

袖ヶ浦市



マスコットキャラクター
【ガウラ】

南房総市



イメージキャラクター
【みなたん】

鋸南町



イメージキャラクター
【みかえりちゃん】

千葉県男女共同参画地域推進員（南房総地域）

南房総地域



地域推進員

5市町（10名）

◎リーダー ○サブリーダー

青 木 鉄 弘（館山市）
 小 野 久美子（木更津市）
 ○浅 沼 紀 子（鴨川市）
 小 倉 正 敬（袖ヶ浦市）
 ◎渡 ひとみ（鋸南町）

吉 田 育 世（館山市）
 小 山 百合子（木更津市）
 重 永 あずさ（富津市）
 安 田 紀美子（袖ヶ浦市）
 鈴 木 正一郎（鋸南町）

市町職員

吉 田 琉 己（館山市）
 岡 安 泰 弘（鴨川市）
 松 井 大 和（富津市）
 佐 藤 陽 子（南房総市）

松 木 貴 史（木更津市）
 若 竹 裕 美（君津市）
 安 松 昂 汰（袖ヶ浦市）
 鈴 木 潮 音（鋸南町）

令和4年度千葉県男女共同参画地域推進員 （南房総地域）活動記録

No.	月日	名 称	会 場	内 容
1	4/27 (水)	委嘱式・全体研修会	千葉県教育会館 大ホール	
2	5/26 (木)	第1回地域推進員会議	君津市役所5階 大会議室	(1)自己紹介 (2)リーダー・サブリーダーの決定 (3)第9期活動テーマについて (4)令和4年度年間活動予定について
3	6/24 (金)	第2回地域推進員会議	ZOOM開催	(1)リーダー・サブリーダーの決定 (2)寸劇シナリオの更新について (3)二つ目の事業について
4	7/12 (火)	鋸南中学校打ち合わせ	鋸南町立鋸南中学校	(1)御挨拶 (2)寸劇概要の説明 (3)スケジュール等打合せ
5	7/21 (木)	第3回地域推進員会議	君津市役所5階 大会議室	(1)寸劇配役決め (2)シナリオ読み合わせ (3)ポスター案について (4)事業について
6	9/15 (木)	第4回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター2階 多目的ホール	(1)ポスター内容決め (2)寸劇シナリオ修正案
7	10/28 (金)	第5回地域推進員会議	鴨川市役所4階 大会議室	(1)寸劇リハーサル (2)ポスター草案の修正
8	11/22 (火)	寸劇セミナー「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」 鋸南町立鋸南中学校体育館 ○寸劇の上演と解説		
9	11/22 (火)	第6回地域推進員会議	鋸南中学校体育館2階 ミーティングルーム	(1)活動報告書の作成について (2)事業報告会の役割分担について (3)ポスター最終案について
10	1月	第7回地域推進員会議	書面開催	(1)令和4年度活動報告書について (2)令和4年度事業報告会について
11	2/24 (金)	第8回地域推進員会議	ZOOM開催	(1)活動報告書の最終確認について (2)事業報告会の発表内容等について (3)令和5年度事業について
12	3/15 (水)	事業報告会	千葉県男女共同参画センター 会議室	

情報誌寄稿（eパートナー第32号）	小倉 正敬推進員	地域推進員活動について
情報誌寄稿（eパートナー第33号）	安田 紀美子推進員	今年度の取組について

南房総地域男女共同参画セミナー

「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」

～ 劇団なのはな ～

【日 時】 令和4年11月22日（火） 午後1時15分から2時10分

【会 場】 鋸南町立鋸南中学校 体育館

【参加人数】 131名：生徒102名、教員12名、スタッフ17名

アンケート回収数102：男子55名、女子47名

1年生33名（男子生徒20名、女子生徒13名）

2年生34名（男子生徒15名、女子生徒19名）

3年生35名（男子生徒20名、女子生徒15名）

【当日の流れ】

10:00	集合・会場設営
11:00	リハーサル
12:15	昼休憩
13:05	生徒入場
13:15	「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」開始
14:10	寸劇終了・片づけ、打合せ
15:30	解散



【役割分担】

全 体

解 説	岡安（鴨川市）、鈴木（鋸南町推進員）、松木（木更津市）
司 会	鈴木（鋸南町）
記 録	吉田（館山市推進員）
写 真	事務局
ナレーション	佐藤（南房総市）

場面1 家事の役割分担 ～家庭内での男女共同参画を考える～

お母さん	渡（鋸南町推進員）
お父さん	小倉（袖ヶ浦市推進員）
長 女	坂本（センター）
二 女	吉田（館山市推進員）
おばあちゃん	若竹（君津市）

場面2 みなさんの進路はどのように考えていますか？

女子生徒A	安田（袖ヶ浦市）
女子生徒B	浅沼（鴨川市推進員）
男子生徒C	松井（富津市）
男子生徒D	吉田（館山市）
男子生徒E	鋸南中学校教員

場面3 トイレ掃除

先 生	渡（鋸南町推進員）
女子生徒1	若竹（君津市）
女子生徒2	吉田（館山市推進員）
男子生徒1	安松（袖ヶ浦市）
男子生徒2	岡安（鴨川市）

場面4 デートDV

秋 男	小倉（袖ヶ浦市推進員）
夏 子	鋸南中学校教員
女子生徒	安田（袖ヶ浦市推進員）

＜鋸南町立鋸南中学校 セミナーの概要＞

平家打倒の兵を挙げた源頼朝が、相州石橋山の合戦で敗れ、わずかな供を連れて小舟で房総へと逃れてきたのが1180年、鋸南町の村人たちは頼朝を歓迎して色々と世話を焼いたといわれています。そして、この鋸南町の竜島が頼朝にとって「再起の地」として今なお語り継がれています。

今回、多感で最も吸収力のある中学生に「男女共同参画」という中学生にはなじみのない言葉を、身近な事例を題材にわかりやすく伝えようと、「劇団なのはな」を結成、＜生徒とともに 身近な男女共同参画を考える＞を掲げ、4つの場面にわけ、それぞれお伝えしてきました。

場面1は男女共同参画社会基本法第6条、場面2と3は同法第4条、場面4は同法第3条を基にした内容です。



【校長先生による開会の御挨拶】



【アンケートを記入する生徒たち】

場面1は「家事の役割分担」です。フルタイムで働くお母さんが帰宅してすぐ夕飯の支度へ取り掛かります。が、お風呂から上がってきた大工のお父さんが、「お母さん、ビールとつまみ」と一言。（これを我が家でやられたら、「もう一度言ってごらんなさい」となります。）「自分で取りに行けば。」と反論する娘に対し、おばあちゃんが「女が家族の世話をするのは当たり前」とお父さんの味方をしました。

場面2は「みなさんの進路はどのように考えていますか？」という題材です。

パイロットになりたい女子生徒、看護師になりたい男子生徒。それに対して別の男子生徒は「それは男性の仕事、それは女性の仕事」と批判的な意見を。「これからは男女に関係なく誰でも好きな仕事に就けた方がいい」という女子生徒。この仕事はどの性別という垣根を考えさせられる題材でした。

場面3は「トイレ掃除」が題材です。

女子は男子よりトイレ掃除が丁寧で上手で得意、きれいなのが当たり前、という先生。男子トイレの方がきれいと言われ、女子生徒はびっくり。しかし、男子生徒たちは掃除分担を決めて喋らず掃除に打ち込んでいました。女子はおしゃべりしながらだったので、しょうがないですね。

場面4は「デートDV」です。

ガールフレンドは、自分のボーイフレンドがほかの女子生徒としゃべることに怒っています。「私だけを見てほしい」のはとってもよくわかるのですが、ボーイフレンドからスマホを取り上げ、アドレスデータを消してしまう始末。愛の勘違いを学んでもらいました。



【場面1 家事の役割分担】



【場面2 みんなの進路はどのように考えていますか？】



【場面3 トイレ掃除】



【場面4 デートDV】

場面2と4では、鋸南中学校の先生に出演していただき、生徒たちと壇上の間に一体感を生んでいただきました。

各場面終了後に、生徒たちがどう考えているのか、YES（赤）とNO（青）の紙を使って意見を聞いてみました。



【ブルーとピンクの紙で意思表示する生徒たち】



【参加してくださった先生お二人】

場面ごとにピンクと青の紙が混じり、同じ題材でも各個人の意見や育った環境の違いにより、捉え方や考え方が違ってくるのだと、読み取れました。

参加型の寸劇事業は、生徒たちに「男女参画」という言葉を身近に感じてもらい、「こんな場面も男女参画の事例になるんだ」と、強く印象に残ったと思います。

これからの未来を生きる感受性豊かな中学生にとって、男女が協力して共に生きることを考える機会は、これからますます重要になってくると思います。

固定概念が形成されていない成長過程の中学生にこそ、男女の置かれている環境を考え、自分の人生でどのように男女が関わるべきか、考える時間は貴重なものになるでしょう。

■鋸南中学校生徒アンケート結果より（抜粋）

- ・日常でよくあることなので分かりやすかったです。
- ・考え方は自由だけど、賛成する人と反対する人で意見がわかれていて、男女共同参画の難しさがわかった。
- ・性別によってできて当たり前を決めるのはよくないと思ったから。
- ・好きな人を一人じめしたいのはわかるけど、それにあたって暴力したりするのはよくないとわかったから。

寸劇事業の成果は、生徒達のアンケート結果に集約されたと思います。この成果を活かすには、熱意を持って寸劇事業を継続していくことと感じました。

多くの方の御協力を得て、この度の寸劇事業を実施できました。鋸南中学校の関係者の方や生徒の皆さん、そして、スタッフが一体となつての寸劇事業でした。鋸南中学校の関係者の方の賛同を心から感謝します。

（記録：吉田育世）



啓発ポスターの作成

① テーマ：アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

Unconscious bias

【アンコンシャス・バイアス - 無意識の思い込み】

男のくせにピンクの服とか着るんだね／年寄りには正直スマホなんて必要くない？／女は人生イージーモードでいいよなあ／B型って自分のことしか考えてないから苦手だよ／育児中の女性社員に営業はムリなんじゃないすかねえ／お酒飲めないとお付き合い悪くない？／アイツ、また定時で帰んの？マジで仕事やる気ないっしょ／上司は部下よりも優秀でなければならないと思うんです／女だし名刺なくても別にいいよね？／やっぱりお茶出しは女性にお願いしたいっすよね〜／「それって常識だろう」／男のくせにオートマ限定免許とかダッサ／男なのにどうして看護師になったの？／さすが！女性ならではのこまやかな氣遣いって感じですね／男子のランドセルは黒が一番しっくりくるよね〜／あー君！東北出身なんだって？やっぱり酒強いの？／猫好きなら絶対いい人に決まってよ！／みんながやってるから自分もやるのが当たり前でしょ／子育ては母親の仕事なんだから私ももっとがんばらなきゃ／男なんだから家庭よりも仕事を優先しろよ／LGBTQ+の人なんて自分の周りには一人もないよ？／外国人には犯罪者が多いから夜道で一触になるの怖い／今までこのやり方でうまくいったんだから俺の言うとおりにすればいいんだよ／片親の子には問題があるから遊んじゃいけない！／テレビで言ってることと違うけど頭大丈夫？／大卒なのにそんなことも知らないの？／女性はすぐ感情的になるから上司にはしたくないな〜／デートで女に

**あなたの無意識が
誰かを傷つけてるかもしれないよ？**

も半分払わせるとかもちょっと信じらんないんだけど／専門家が言ってさうだし間違ってるはずはない？
／陽キャはツイッターなんでやらないわね／新人のくせに先に帰るなんて空気読めなさすぎ／女の子の手を握りながら歩くのはかわいそう／えっ、あっ、あ、あ、あ、あ、私にはえ、え、言葉なんですわ、む、む、無理です！！！！／子どもが具合悪いから早く病院連れて行ってあげようと思ったら普通は母親が迎えに行くよね？
／黒い車にゴールドのエンブレムつけててカッコイイ／なんでヤンキーがは／共働き家庭の子はかわいそうだよ／あの人はメンタルで療養中だから話しかけてはいけない／セクハラとかストーカーとかかきつけられてるから男の人が苦手なんです／めっちゃくちゃ暑いし暑も出てくるけど、Eカップの胸罩を着て歩いてる人を見て折れてないって言うから折れてないよ／美人なのに3月まで独身なん／性格の問題があるんじゃない？／牡羊座の人は性格がついから無理だ／ネットでお会いする方ってメンヘラが多い／くせにあんなに仕事できない？／アンコンシャス・バイアスなんて私にはないと思います／みんな悪気はないんだよね、無意識を意識するのが大切かなともう／必ずかしこい…／まずは意識し直さないとまずいところから始めてみよう／

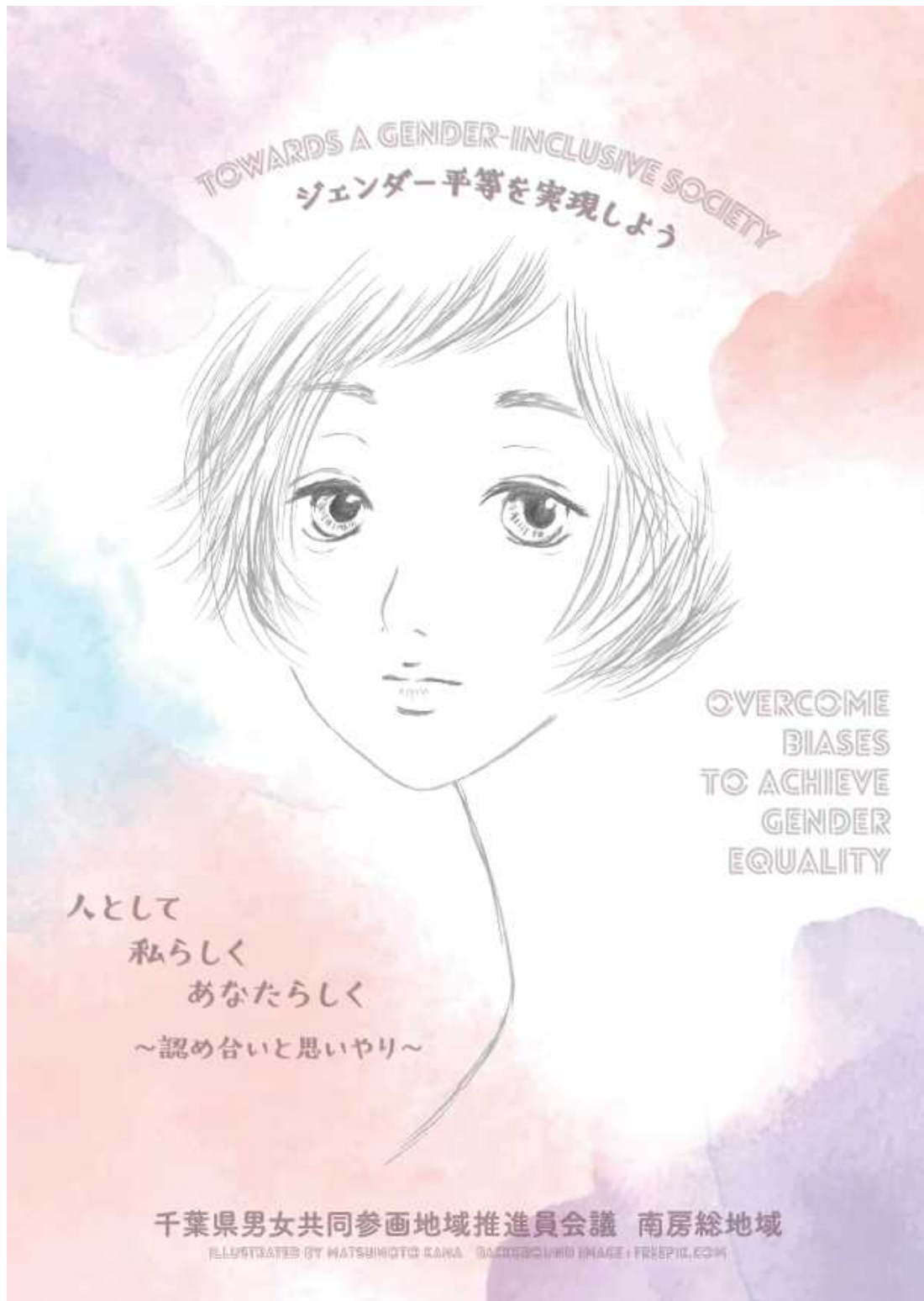
人として 私らしく あなたらしく～認め合いと思いやり～

千葉県男女共同参画地域推進員会議　南房総地域

南房総地域での啓発活動は、中学生を対象とした寸劇を主としていますが、今年度は新たにポスターを加える提議がなされ、作成に至りました。

推進員を中心に、各市町で掲示を行い、今後の推進活動に役立てていきます。

② テーマ：ジェンダー平等



男女共同参画週間には、期間（6月23日～29日）が記載された専用ポスターを作成・展示します。

また、県主催のイベントでも展示します。